



Ver.2.01 対応版

Lesson

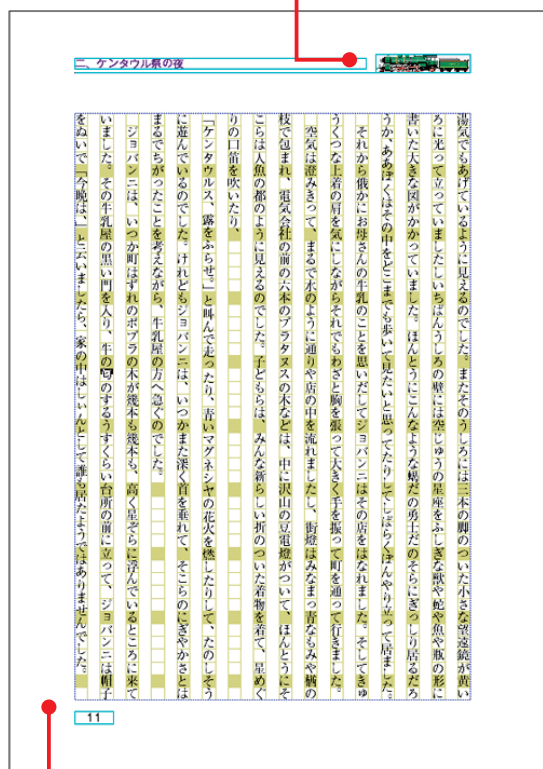
2

ページ物の作成と面付け

Point Lesson2 では書籍などページ物の作成に必要な各種機能を学びます。
マスターやセクション、ページ管理、ルビや縦中横などの組版機能を使用してページ物を作成します。作成後は Smart-Imposer によって面付けを行います。

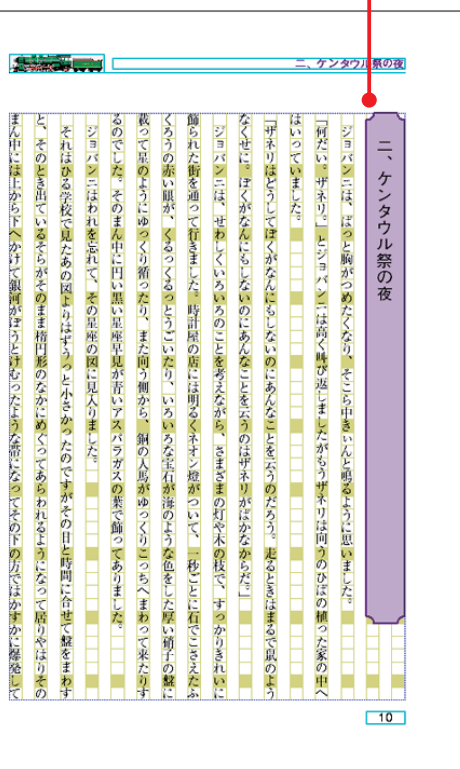
Step1 ファイルの新規作成とマスター設定

Step1 ではファイルの新規作成とマスターオブジェクトやノンブル、柱の設定方法を学びます。



Step2 本文に組版設定を行う

Step2 では段落スタイルでの見出し設定、およびルビや縦中横などの組版設定方法を学びます。



Step3 マスターの作成とセクション設定

Step3 ではマスターの新規作成方法とセクションに分割する方法を学び、扉と奥付を作成します。

Step4 面付けを行う


Step4 では作成したページ物を、Smart-Imposerを使用して面付け方法を学びます。

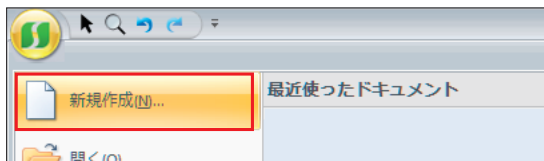


Step1 ファイルの新規作成とマスター設定

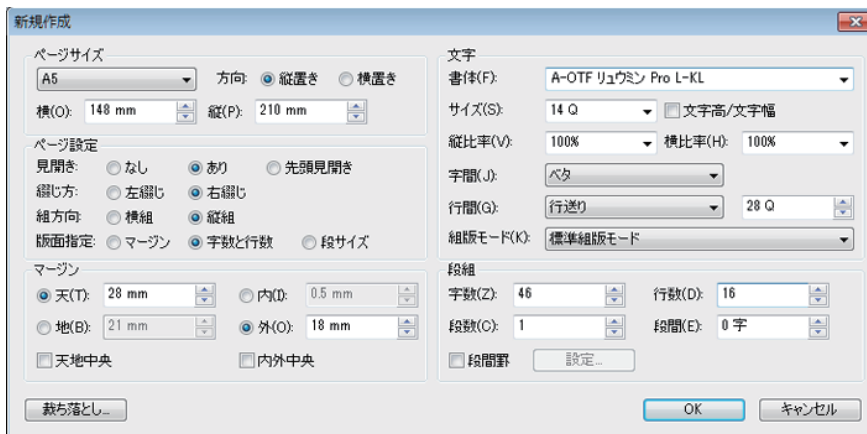
ページ物のドキュメント作成とマスターオブジェクトの配置方法を学びます。

1 ファイルの新規作成

- この Lesson で使用する文書の新規作成を行います。【MC-Smart】を起動し、 をクリックして【新規作成】をクリックします。



- 以下のように【新規作成】の設定を行います。



ページサイズ

用紙サイズ A5

方向 縦置き

見開き あり

綴じ方 右綴じ

組方向 縦組

版面指定 字数と行数

マージン

天 28mm 外 18mm

文字

書体 A-OTF リュウミン Pro L-KL

サイズ 14Q

行送り 28Q

段組み

字数 46 字

行数 16 行



新規ドキュメントの作成時に設定した版面指定や文字などの内容は【ページ】パレットの【標準マスター】を編集することで変更することができます。ページサイズ、ページ設定については【ホーム】タブ→【編集】→【ページ】→【ページ設定】にて変更ができます。

- 環境設定の単位を以下のように設定しておきます。



単位

位置 / 長さ ミリ : mm

文字サイズ 級数 : Q

組版 級数 : Q

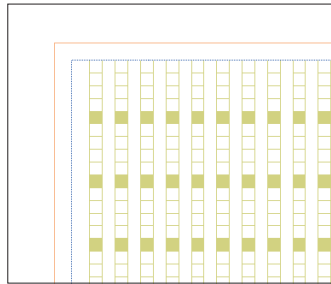
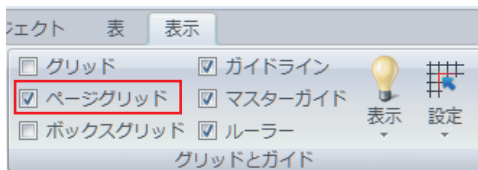
線幅 ミリ : mm



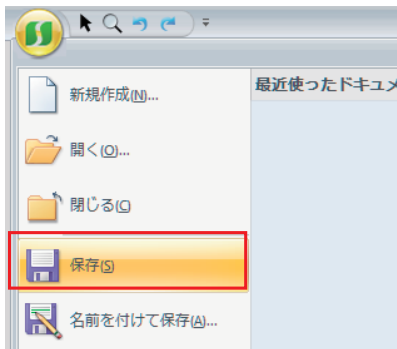
単位の設定は【ファイル】ボタン→【環境設定】→【単位と移動量】で行います。

2 グリッドの設定とファイルの保存

- 1 グリッドを表示します。【表示】タブ→【グリッドとガイド】→【ページグリッド】の ☐ を ☒ にします。



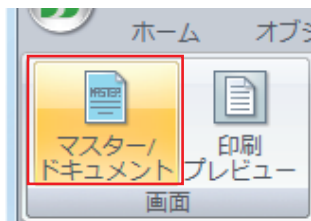
- 2 ファイルを保存します。📁 をクリックし、【保存】をクリックします。保存場所を指定し、任意のファイル名で保存します。ここでは『銀河鉄道の夜』として保存します。



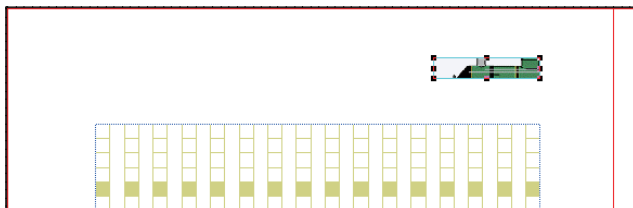
3 マスターオブジェクトの設定

見開きの内側に汽車の画像を配置する

- 1 【表示】タブ→【画面】→【マスター/ドキュメント】をクリックし、マスターページ編集画面を表示します。



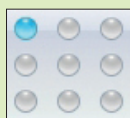
- 2 ドキュメントの左ページの位置に画像ボックスを以下の設定で作成し、汽車の画像をインポートします。



種類 長方形画像ボックス

画像ファイル

Lesson2¥画像¥汽車.BMP



位置

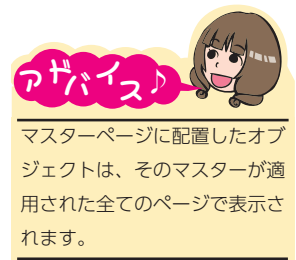
X 100.5mm

Y 12mm

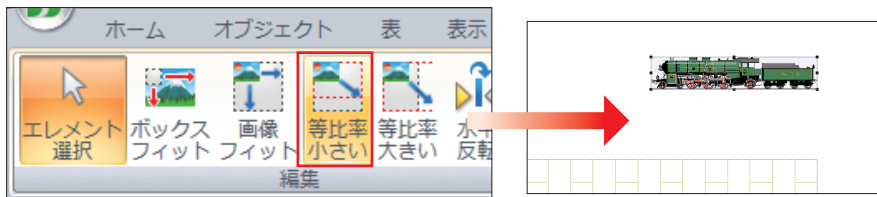
サイズ

W 26mm

H 5mm

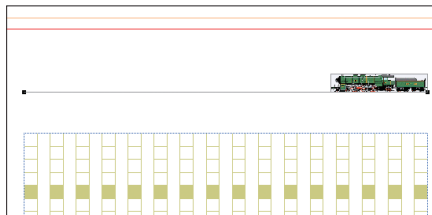


- 3 【画像】タブ→【編集】→【等比率小さい】をクリックします。画像ボックスに合わせて画像が変形します。

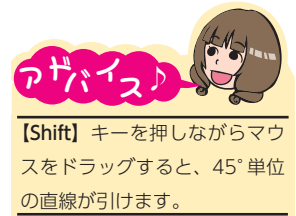


汽車の下に直線を作成する

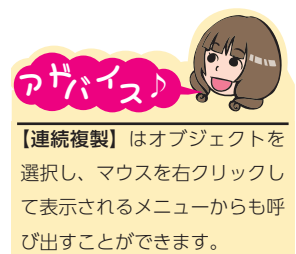
- 4 【オブジェクト】タブ→【図形】→【直線】をクリックし、汽車の画像の下に直線を以下の設定で作成します。



位置		サイズ	
X	18mm	W	108.5mm
Y	17mm	H	0mm
線幅		0.1mm	

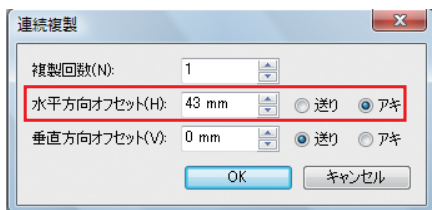


- 5 左ページに作成したオブジェクトを右ページにコピーします。汽車の画像ボックスを選択した状態で、【オブジェクト】タブ→【編集】をクリックし、リストから【連続複製】を選択します。

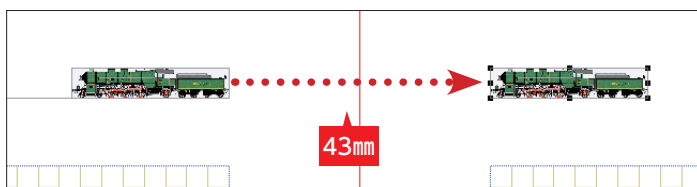


作成したオブジェクトをコピーする

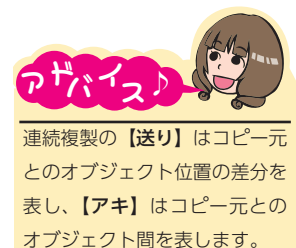
- 6 【連続複製】ダイアログを以下のように設定し、画像ボックスをコピーします。



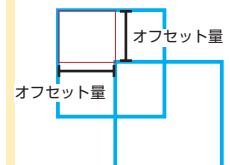
複製回数	1
水平方向オフセット	43mm アキ
垂直方向オフセット	0mm 送り



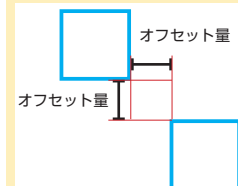
- 7 コピーした画像ボックスを選択した状態で、【画像】タブ→【編集】→【水平反転】をクリックして、画像を左右反転します。



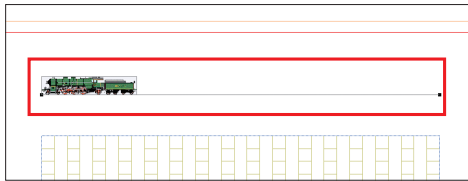
送り



アキ



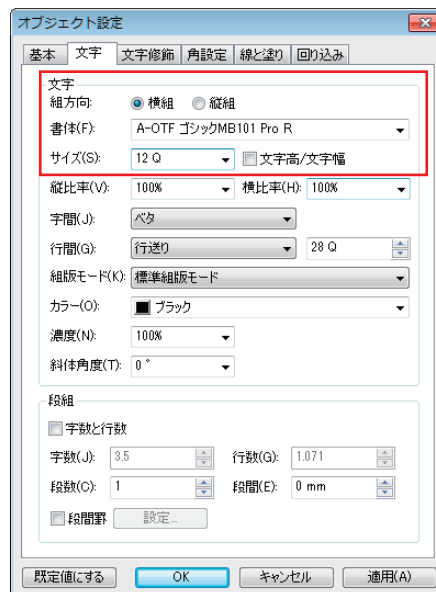
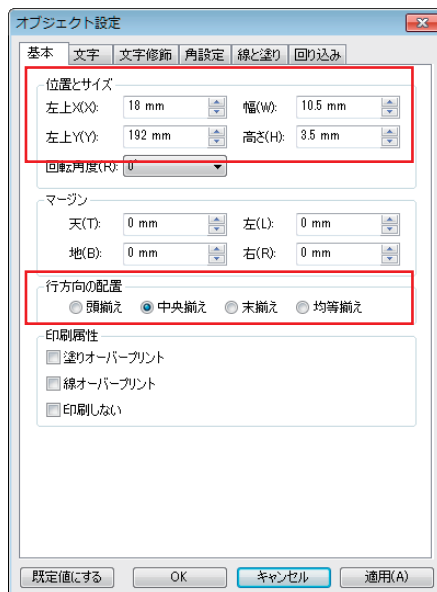
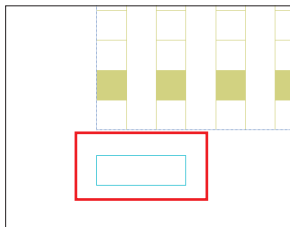
- 8 同様の操作で手順4で作成した直線を手順6と同じ操作、値でコピーをします。



4 ノンブルの設定

ノンブル用のテキストボックスを作る

- 1 マスターページ編集画面で【オブジェクト】タブ→【テキストボックス】→【横組】をクリックして、テキストボックスを作成し、【オブジェクト】タブ→【編集】→【編集】をクリックし、リストから【オブジェクト設定】を選択し、以下のようにテキストボックスを設定します。



基本タブ

位置とサイズ

左上 X 18mm 幅 10.5mm
左上 Y 192mm 高さ 3.5mm

行方向の配置 中央揃え

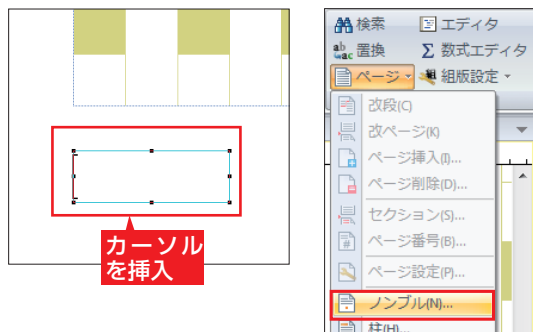
文字タブ

文字

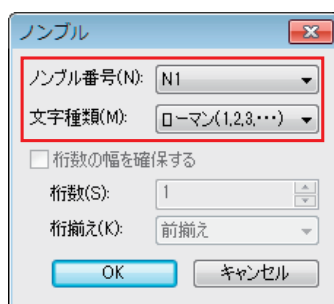
組方向 横組
書体 A-OTF ゴシック MB101 Pro R
サイズ 12Q

ノンブル用の文字を入力する

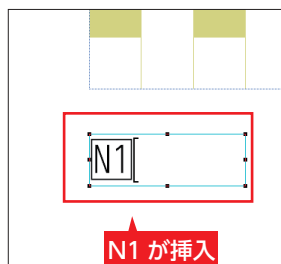
- 2 作成したテキストボックスにカーソルを挿入した状態で、【ホーム】タブ→【編集】→【ページ】をクリックし、リストから【ノンブル】を選択します。



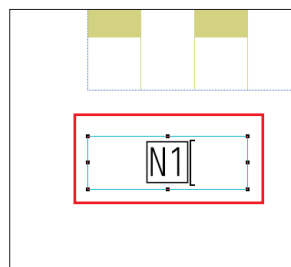
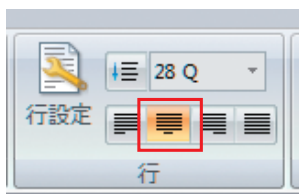
- 3 【ノンブル】ダイアログを以下のように設定し、【OK】をクリックします。テキストボックスに【N1】が挿入されます。



ノンブル番号 N1
文字種類 ローマン (1, 2, 3...)

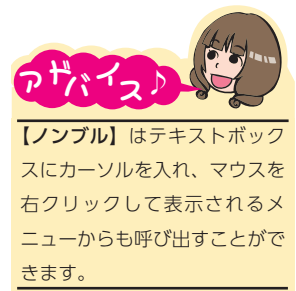


- 4 ノンブルの位置を調整します。ノンブル用のテキストボックスにカーソルを挿入した状態で、【ホーム】タブ→【行】→【最終行中央揃え】をクリックして、中央揃えにします。

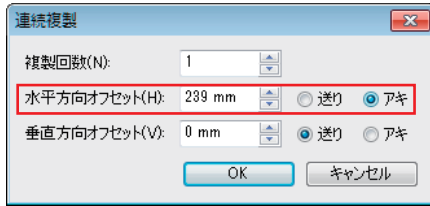


見開きの右側ページにコピーする

- 5 右ページに作成したノンブル用のテキストボックスをコピーします。ノンブル用のテキストボックスを選択した状態で、【オブジェクト】タブ→【編集】をクリックし、リストから【連続複製】を選択します。



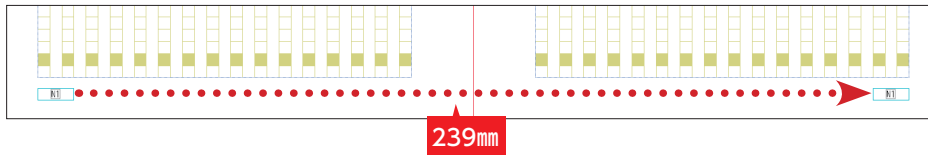
- 6 【連続複製】ダイアログを以下のように設定し、テキストボックスをコピーします。



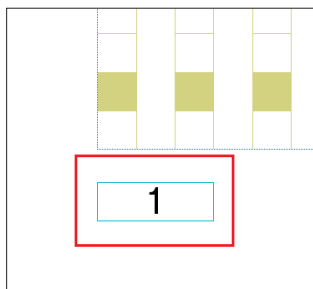
複製回数 1

水平方向オフセット 239mm アキ

垂直方向オフセット 0mm 送り



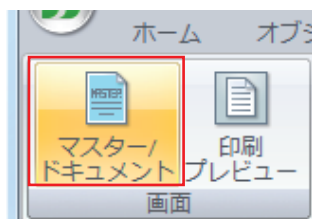
- 7 【表示】タブ→【画面】→【マスター/ドキュメント】をクリックし、表示をドキュメントに戻し、ノンブルを確認します。



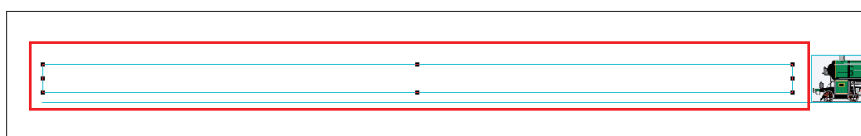
5 柱の設定

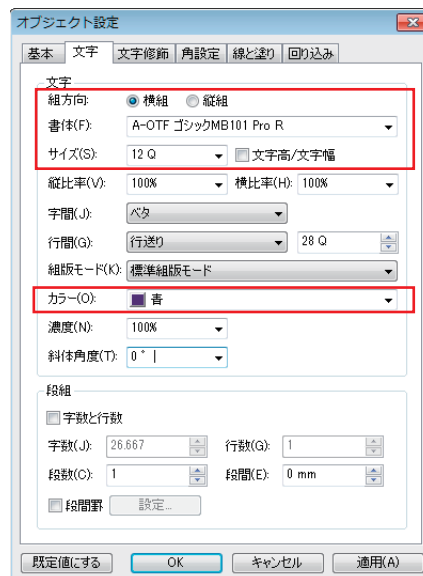
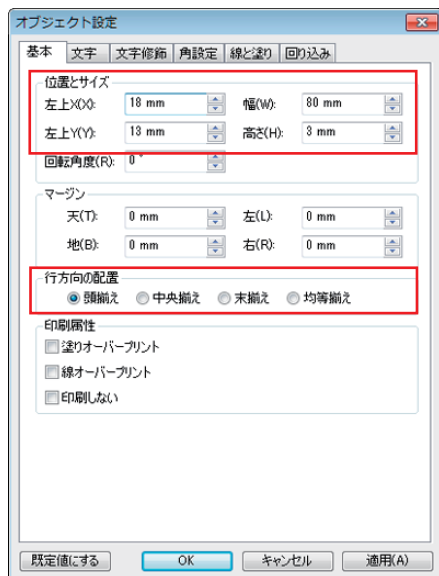
柱用のテキストボックスを作る

- 1 【表示】タブ→【画面】→【マスター/ドキュメント】をクリックし、マスターページ編集画面を表示します。



- 2 【オブジェクト】タブ→【テキストボックス】→【横組】をクリックして、テキストボックスを作成し、【オブジェクト】タブ→【編集】→【編集】をクリックし、リストから【オブジェクト設定】で、以下のようにテキストボックスを設定します。





基本タブ

位置とサイズ

左上 X 18mm 幅 80mm

左上 Y 13mm 高さ 3mm

行方向の配置 頭揃え

文字タブ

文字

組方向 横組

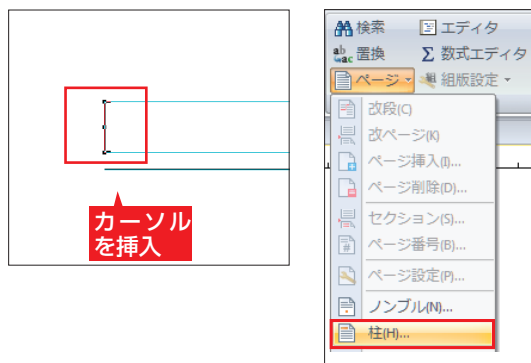
書体 A-OTF ゴシック MB101 Pro R

サイズ 12Q

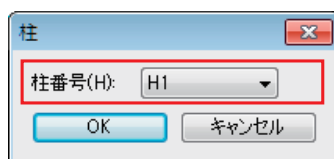
カラー 青

柱用の文字を入力する

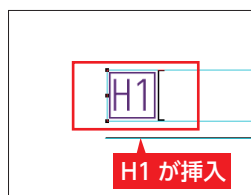
- 作成したテキストボックスにカーソルを挿入し、【ホーム】タブ→【編集】→【ページ】をクリックし、リストから【柱】を選択します。



- 【柱】ダイアログを以下のように設定し、【OK】をクリックします。テキストボックスに【H1】が挿入されます。

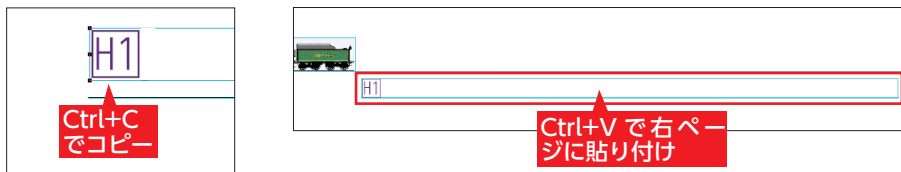


柱番号 H1

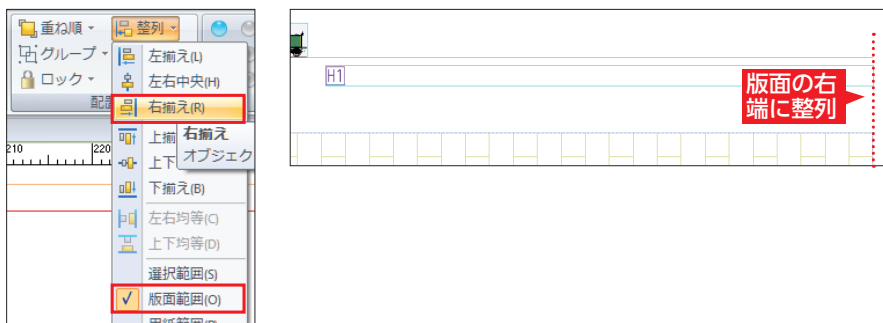


見開きの右側ページにコピーして整列する

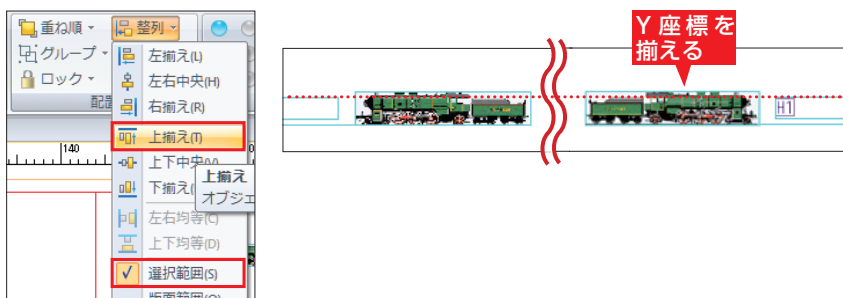
- 5 右ページに、作成した柱用のテキストボックスをコピーします。柱用のテキストボックスを選択し、【Ctrl+C】でコピーし、右ページに【Ctrl+V】で、汽車画像の右下付近の位置に貼り付けます。



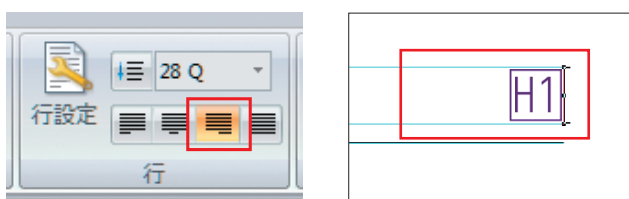
- 6 【オブジェクト】タブ→【配置】→【整列】をクリックし、リストから【版面範囲】を選択して、チェックを入れます。コピーした柱のテキストボックスを選択した状態で、【整列】を再度クリックし、リストから【右揃え】を選択します。版面の右端にオブジェクトが整列されます。



- 7 コピーした柱のテキストボックスを左ページの柱の位置（Y座標）に合わせます。【オブジェクト】タブ→【配置】→【整列】をクリックし、リストから【選択範囲】を選択して、チェックを入れます。両方の柱のテキストボックスを選択した状態で、左ページの柱のテキストボックスをクリックして【キーオブジェクト】とし、【整列】を再度クリックし、リストから【上揃え】を選択します。



- 8 柱の位置を調整します。右ページにコピーしたテキストボックスにカーソルを挿入し、【ホーム】タブ→【行】→【最終行行末揃え】をクリックして、行末揃えにします。



- 9 【表示】タブ→【画面】→【マスター/ドキュメント】をクリックし、表示をドキュメントに戻します。柱の文字列表示は次の Step2 で行います。



【整列】は以下の範囲内で左右、中央、上下、均等にオブジェクトを揃えることができます。

選択範囲：選択した複数のオブジェクトを揃えます。オブジェクトが複数選択されている状態で、特定のオブジェクトのみをクリックすることで、キーオブジェクトとなり、揃えの基準になります。

版面範囲：版面サイズの範囲で揃えます。


用紙範囲：用紙サイズの範囲で揃えます。

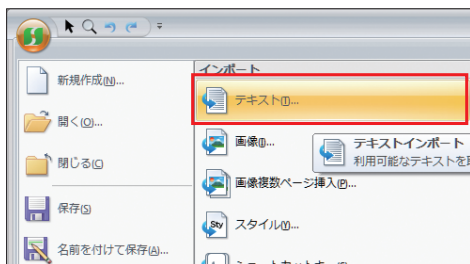
見開き範囲：見開き用紙サイズの範囲で揃えます。

Step2 本文に組版設定を行う

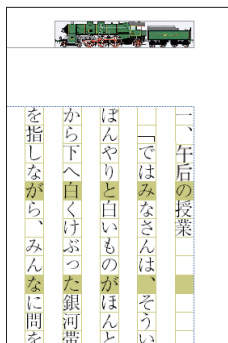
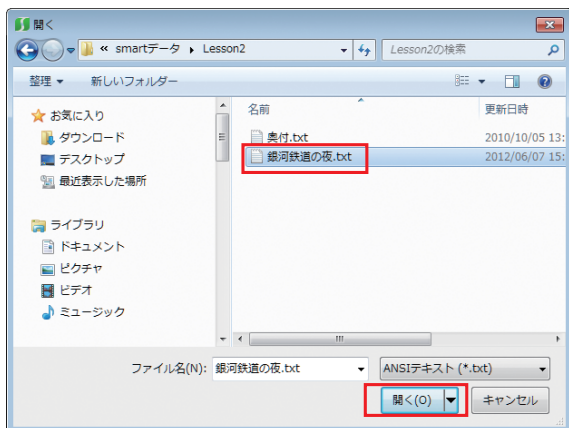
本文に段落スタイルの見出しやルビ、縦中横などの組版設定を行います。

1 テキストのインポート

- 1 本文に使用するテキストをインポートします。ページ先頭にカーソルを挿入した状態で、をクリックして【インポート】→【テキスト】をクリックします。



- 2 ファイル選択のダイアログが表示されたら、読み込むファイル形式を【ANSI テキスト】とし、[Lesson2] → 【テキスト】フォルダにある『銀河鉄道の夜.txt』を選択して、【開く】をクリックします。テキストがインポートされ、ページが自動で追加されます。



ドキュメントページにテキストを流し込むと、テキストの長さに合わせて自動的にページを追加します。

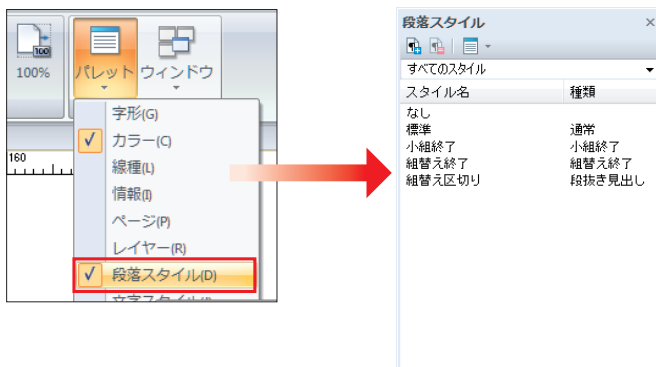


ページの移動は【Page Up】、【Page Down】キーを使用します。他にもステータスバーでページを指定して移動することもできます。


2 見出しの作成

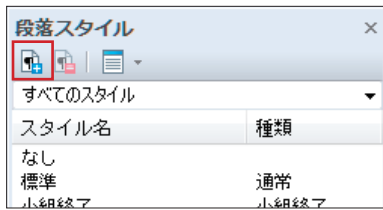
見出し用の段落スタイルを作成する

- 1 【表示】タブ→【ウィンドウ】→【パレット】をクリックし、リストから【段落スタイル】を選択し、【段落スタイル】パレットを表示します。

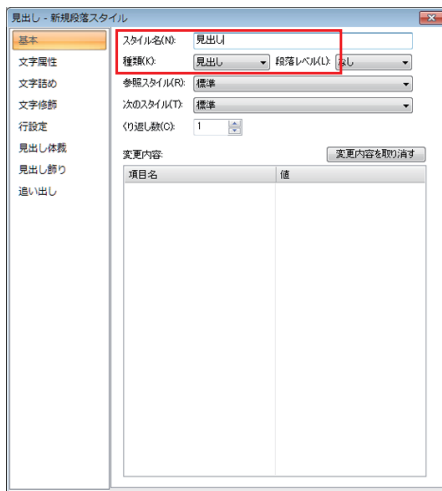


スタイルは体裁の管理をしやすくします。同じ体裁が繰り返されるような場合に利用すると便利です。

- 2 【段落スタイル】パレットのをクリックし、【新規段落スタイル】ダイアログを表示します。



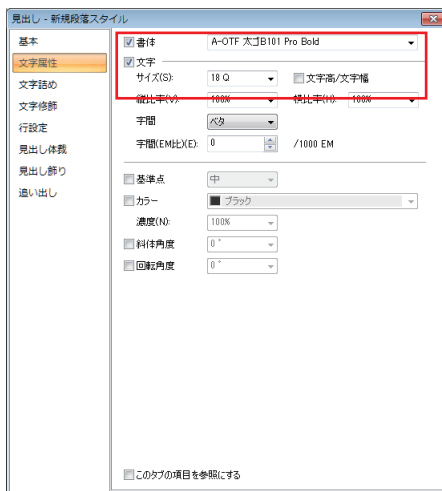
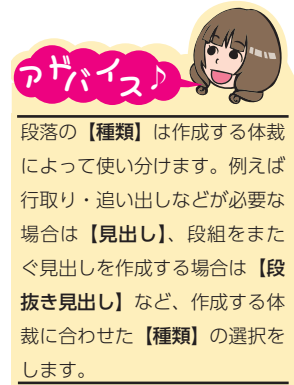
- 3 【新規段落スタイル】を以下のように設定し、【OK】をクリックします。



基本タブ

スタイル名 見出し

種類 見出し

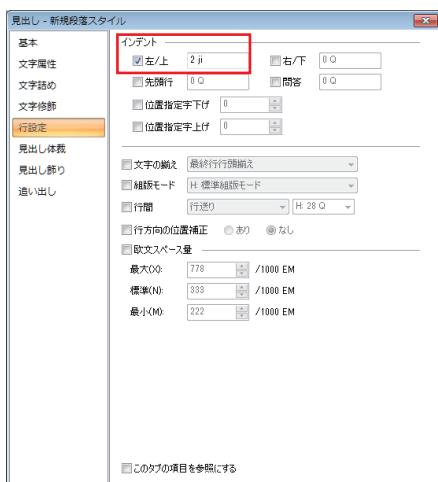


文字属性タブ

☒ 書体 A-OTF 太ゴ B101 Pro Bold

☒ 文字

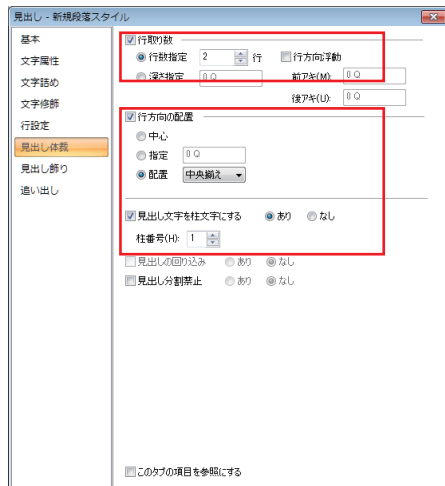
サイズ 18Q



行設定タブ

インデント

☒ 左/上 2 ji



見出し体裁タブ

☒ 行取り数

行数指定 2 行

☒ 行方向の配置

配置 中央揃え

☒ 見出し文字を柱文字にする あり

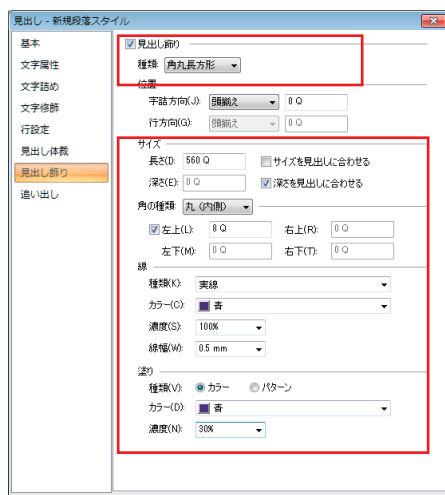
柱番号 1



【行方向浮動】にチェックを入れると、見出しのテキスト量に合わせて行取数が増えます。



【見出し文字を柱文字にする】にチェックを入れると柱と見出しが連動し、見出しスタイルが適用された文字を柱に表示することができます。



見出し飾りタブ

☒ 見出し飾り

種類 角丸長方形

サイズ

長さ 560Q

深さ ☒ 深さを見出しに合わせる

角の種類 丸(内側)

☒ 左上 8Q

線

種類 実線 カラー 青 100%

線幅 0.5mm

塗り

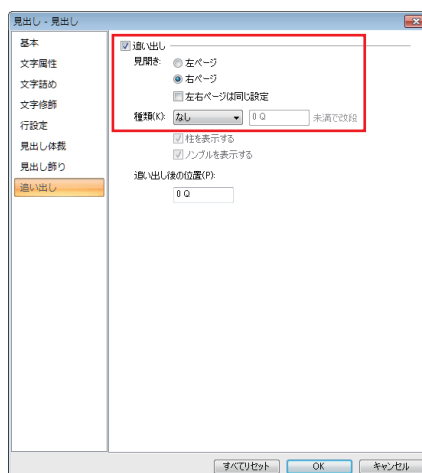
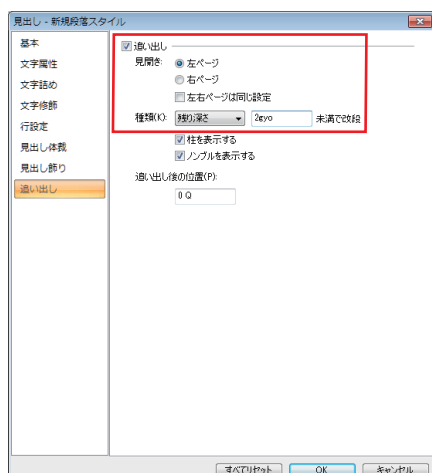
カラー 青 30%



【サイズを見出しに合わせる】、【深さを見出しに合わせる】にチェックを入れると見出し飾りを見出し段落全体のサイズに自動的に合わせます。



角の数値設定で【左上】のチェックボックスにチェックを入れると、全ての角に同じ値が適用されます。



追い出しタブ

☒ 追い出し

見開き 左ページ

種類 残り深さ 2gyo

見開き 右ページ

種類 なし



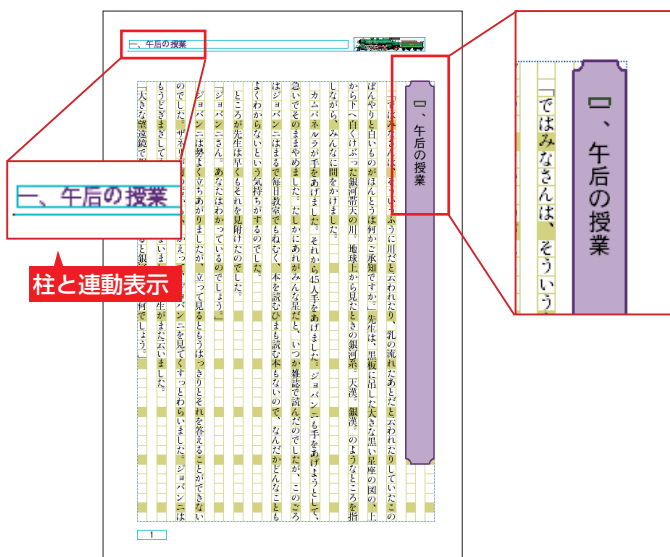
【追い出し】設定は左右ページで別々に設定することができます。その場合、【左右ページは同じ設定】のチェックを外し、【左ページ】、【右ページ】の各々の設定を行います。

段落スタイルを適用する

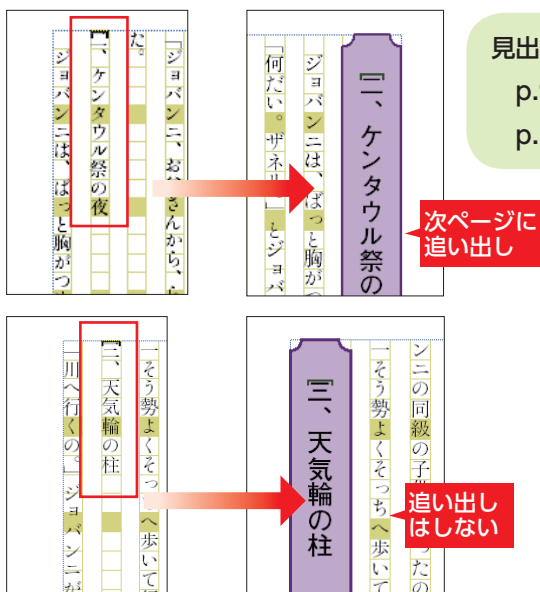
- 4 【見出し】スタイルが【段落スタイル】パレットに追加されたら、ページ先頭の『一、午後の授業』の段落にカーソルを挿入し、パレットの【見出し】スタイルをダブルクリックします。



- 5 【見出し】スタイルが適用されます。見出しの体裁や柱との連動表示などの確認をします。



- 6 他の見出しにも【見出し】スタイルを適用しましょう。見出しの追い出しなどの確認をしましょう。



見出し適用語句

p.9 二、ケンタウル祭の夜

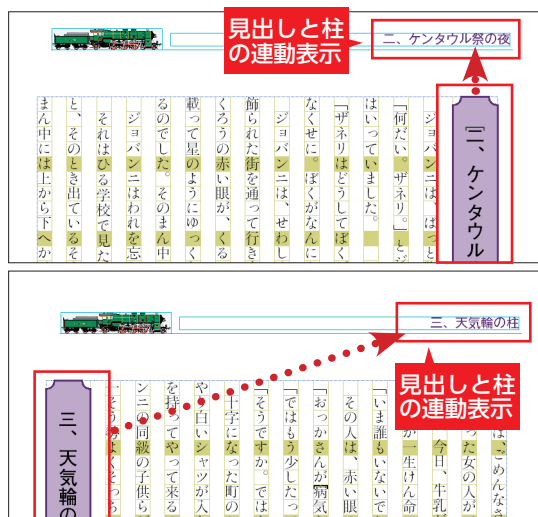
p.12 三、天気輪の柱



段落スタイルの適用を取り止めるには【段落スタイル】パレットの【なし】を適用します。ただし、完全に「なし」の状態になるわけではなく、通常は「標準」のスタイルが適用された状態になります。



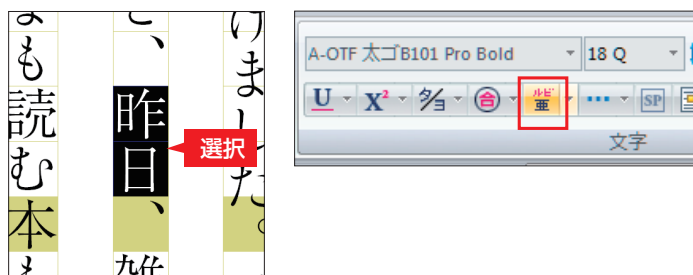
今回の追い出し設定では『二、ケンタウル祭の夜』は左ページにあるため、次ページに追い出されますが、『三、天気輪の柱』は右ページにあるため、設定の結果追い出しされません。



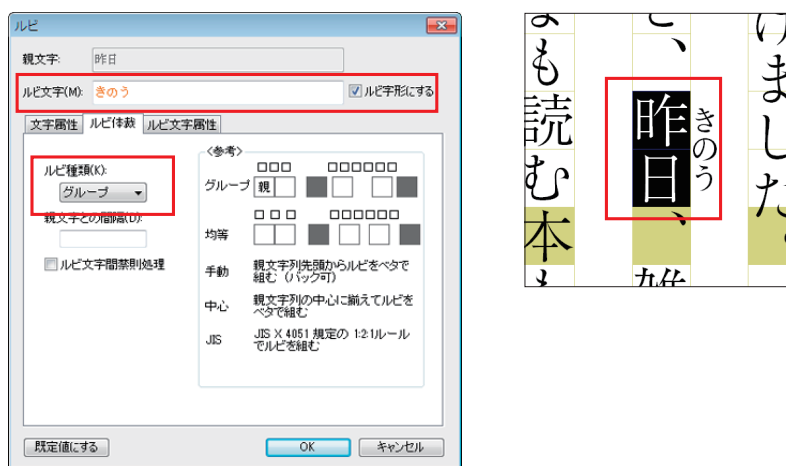
3 ルビを設定する

グループルビを設定する

- 1 ページの8グリッド目にある『昨日』に対して、ルビを設定します。カーソルを挿入して、『昨日』を選択し、【ホーム】タブ→【文字】→【ルビ】をクリックします。



- 2 【ルビ】ダイアログで以下のように設定し、【OK】をクリックします。ルビが設定されます。



ルビ文字 きのう ルビ体裁タブ
☒ ルビ字形にする 種類 グループ



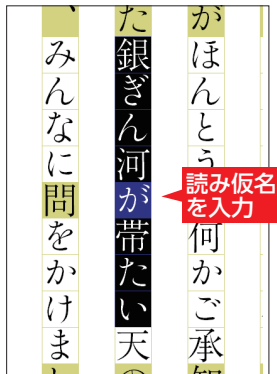
【ルビ字形にする】にチェックをいれると、ルビ文字列をルビ用字形で表示します。ただし、ルビ用字形になるのは、Adobe-Japan 1-4 以上の OpenType フォントを利用している場合に限りです。



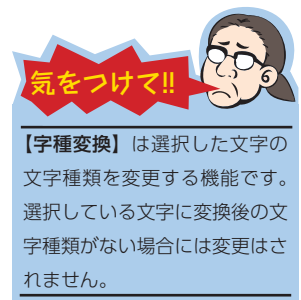
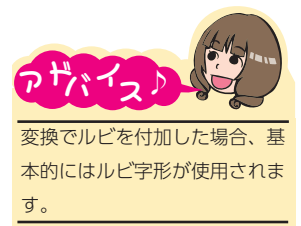
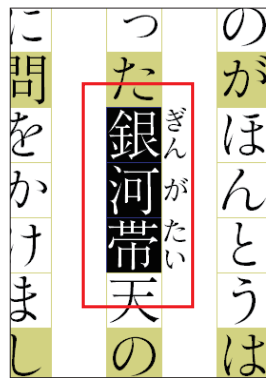
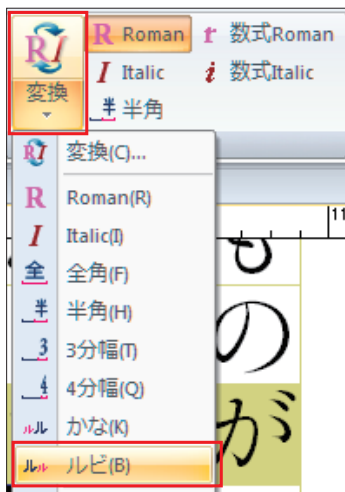
ルビ種類には以下の種類があります。
グループ：モリサワ独自のグループルビです。
均等：親文字列幅、ルビ文字列幅の短い方の文字列のアキを均等に配置します。
手動：ルビ文字を親文字と同じ開始位置からベタで配置します。
中心：ルビ文字列を親文字列の中心に揃えてベタで配置します。
JIS ルール：親文字列幅、ルビ文字列幅の短い方の文字列のアキを 1:2:1 の割合に配置します。

モノルビを設定する

- 1 ページの5グリッド目にある『銀河帯』に対して、ルビを設定します。カーソルを挿入して、『銀ぎん河が帯たい』のように各漢字の後ろに読み仮名を入力します。

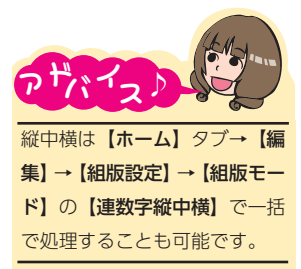
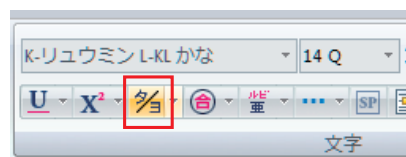


- 2 『銀ぎん河が帯たい』を選択した状態にして、【ホーム】→【字種】→【変換】をクリックし、リストから【ルビ】を選択します。モノルビの体裁になります。

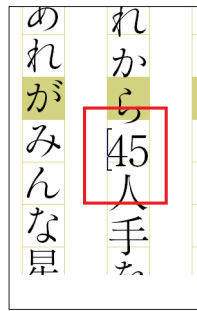
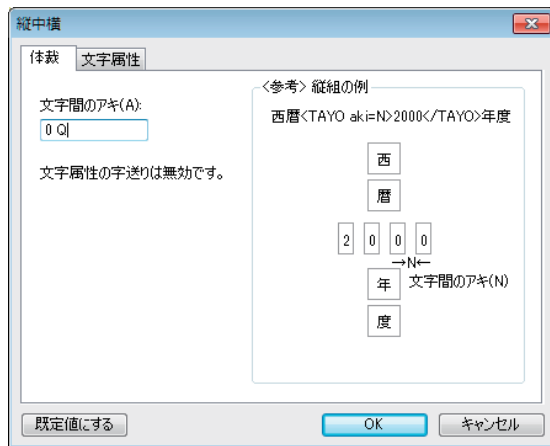


4 縦中横を設定する

- 1 ページの7グリッド目にある『45人』の数字に対して【縦中横】を設定します。カーソルを挿入して、『45』を選択し、【ホーム】タブ→【文字】→【縦中横】をクリックします。



- 2 【縦中横】 ダイアログが表示されたら、【OK】 をクリックします。縦中横が設定されます。



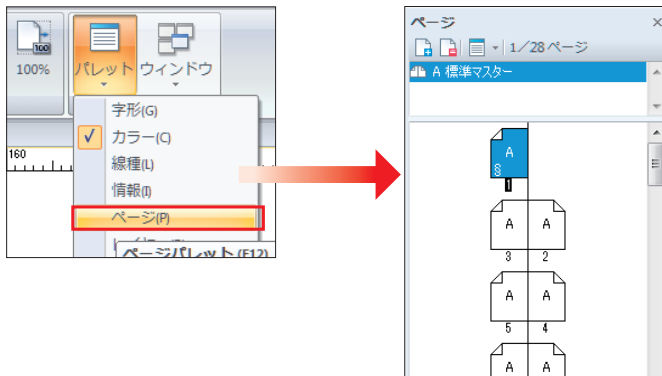
Step3 マスターの作成とセクション設定


扉／奥付用のマスターページの作成やセクション設定を行います。セクションは扉、本文、奥付のように異なる内容や体裁を別々に管理することができます。

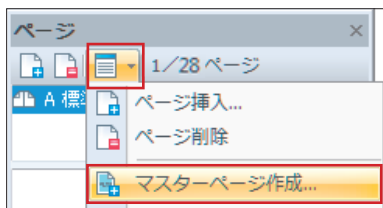
1 マスターページの作成

扉／奥付用のマスターページを作成する

- 1 【表示】タブ→【ウィンドウ】→【パレット】をクリックし、リストから【ページ】を選択し、【ページ】パレットを表示します。



- 2 【ページ】パレットの  をクリックし、【マスターページ作成】を選択して、【マスターページ作成】ダイアログを表示します。



- 3 【マスターページ作成】ダイアログを以下のように設定し、【OK】をクリックします。



マスター名

頭文字 B 名前 扉／奥付

ページ設定

見開き あり 組方向 横組

版面指定 マージン

マージン

天／地 12mm 内／外 15.5mm

文字

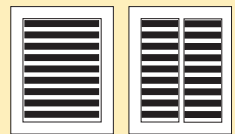
書体 A-OTF リュウミン Pro L-KL

サイズ 13Q 行送り 24Q

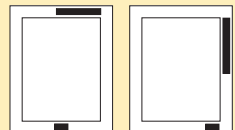


【マスターページ】は、各ページの基本体裁を管理するページ情報で、本文や柱・ノンブル、各ページに配置する共通オブジェクトなどを設定します。また、ドキュメント内で以下のような異なるページレイアウトの設定が必要な場合には新たにマスターページの作成が必要となります。

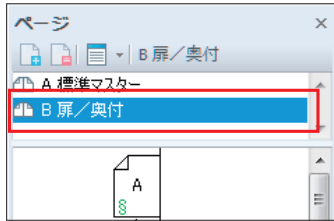
- 組方向や字 / 行数、ページ内の段数などが異なる。



- オブジェクト、柱、ノンブルの配置などが異なる。



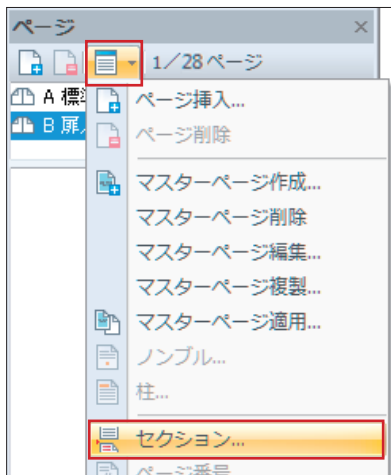
4 【ページ】パレットに【B 扉／奥付】マスターが追加されます。



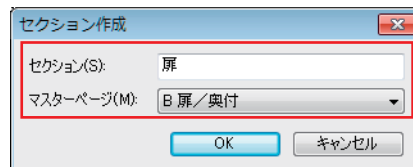
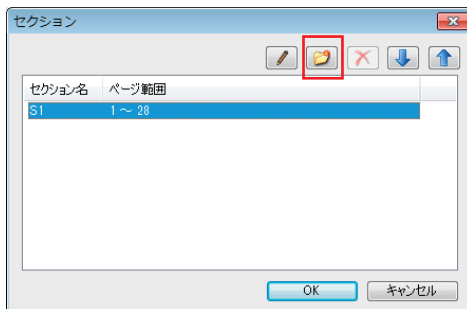
2 セクションを設定する

扉／奥付用セクションを追加する

- 1 【ページ】パレットで、をクリックして、リストから【セクション】を選択します。
【セクション】ダイアログが表示されます。

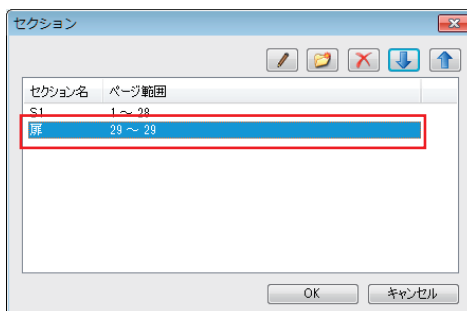


- 2 【セクション】ダイアログのをクリックし、【セクション作成】ダイアログで以下のように設定し、【OK】をクリックします。



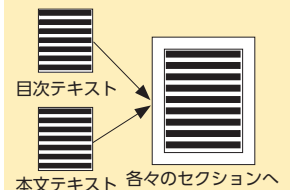
セクション 扉
マスターページ B 扉／奥付

- 3 【セクション】ダイアログに【扉】セクションが追加されます。

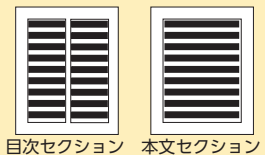


【セクション】は、1冊の書籍の中で目次、本文、奥付などのようにテキストの流れが異なる内容を、複数に分けて管理することができる機能です。セクションで管理することで以下のようなメリットがあります。

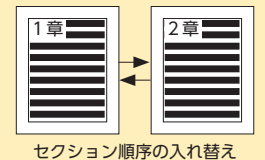
- セクションごとに流し込むテキストを持つので、ページ管理がしやすい。



- セクションごとに、標準で適用するマスターページを設定できる。

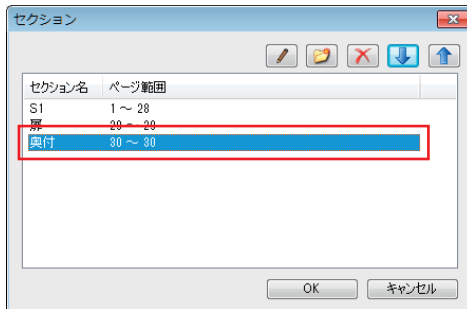


- セクションの順序を入れ替えることができ、章構成の変更などに対応できる。



【S1】は新規ドキュメントを作成したときにできるセクションです。【S1】のセクション名は変更が可能です。

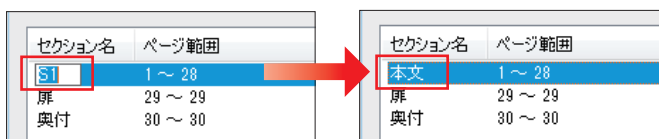
- 4 同様に【奥付】用のセクションも追加します。



セクション 奥付
マスターページ B 扉／奥付

セクション名を変更する

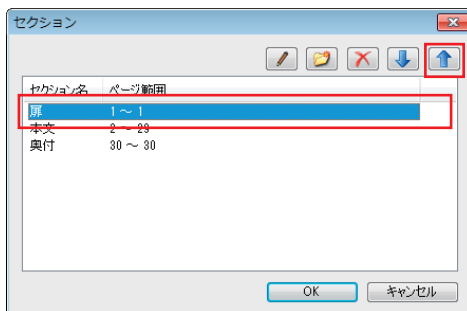
- 5 【S1】のセクション名をクリックすると、セクション名の編集が可能になるので、下記のように名前を変更します。



セクション名 本文

セクションの順序を設定する

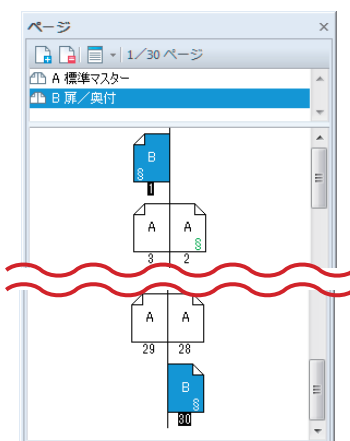
- 6 【扉】のセクションを選択し、↑をクリックして、以下のような順序にし、【OK】をクリックします。



順序

扉→本文→奥付


- 7 先頭ページに扉用、最終ページに奥付用ページが挿入されます。

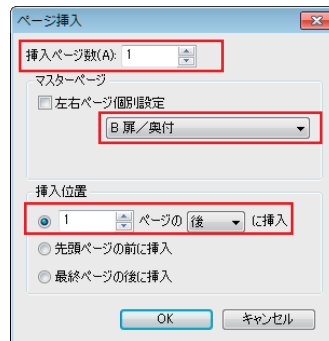
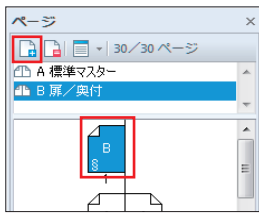


アドバイス

【ページ】パレットでは使用されているマスターページの【頭文字】を各ページのアイコン内に表示させています。またセクションの先頭ページには【S】を表示します。

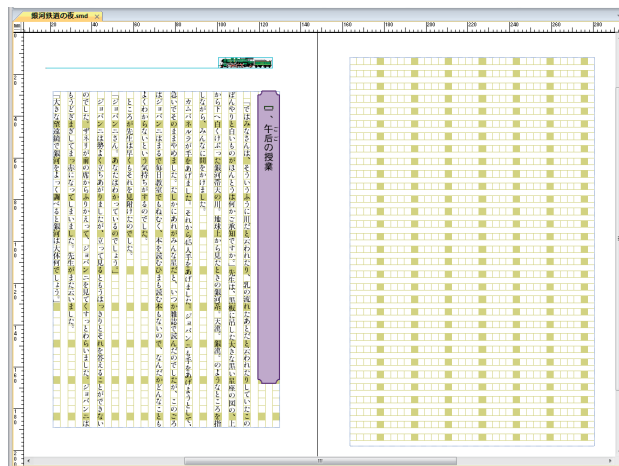
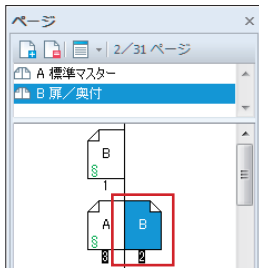
ページを追加する

- 8 【扉】の後ろに白紙のページを追加します。【ページ】パレットから1ページ目のアイコンを選択し、をクリックして、【ページ挿入】ダイアログを表示させます。以下のように設定し、【OK】をクリックします。



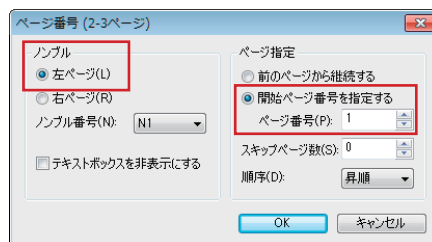
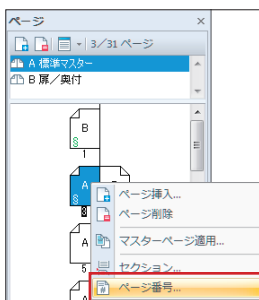
挿入ページ数行数 1
マスターページ
B 扉/奥付
挿入位置
1 ページの後に挿入

- 9 【扉】の後に白紙のページが追加されます。



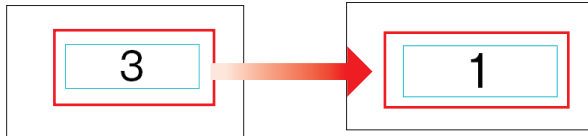
3 ノンブル数を変更する

- 1 【本文】のノンブル数を変更します。【ページ】パレットから3ページ目のアイコンを選択し、右クリックをして、【ページ番号】をクリックします。【ページ番号】ダイアログを以下のように設定し、【OK】をクリックします。



ノンブル 左ページ
ページ指定 開始ページ番号を指定する
ページ番号 1

- 2 3ページ目のノンブル数が【3】から【1】に変更されます。



4 扉／奥付ページを作成する

- 1 先頭ページに移動し、以下の見本を参考にして【扉】を作成しましょう。



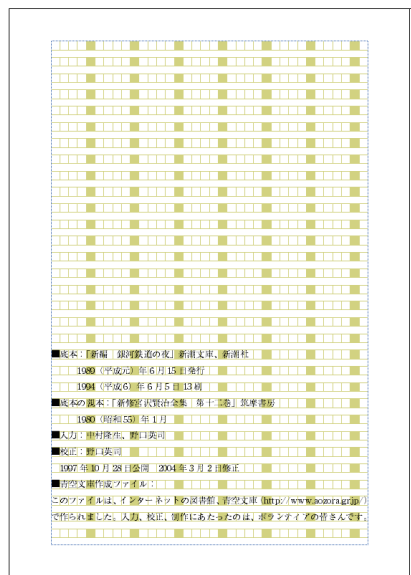
背景画像

画像名 Lesson2¥ 画像¥ 扉画像 .eps

外枠 5mm 青

配置・サイズ 版面に合わせる

- 2 最終ページに移動し、以下の見本を参考にして【奥付】を作成しましょう。



インポートテキスト

Lesson2¥ テキスト¥ 奥付 .txt

配置・体裁 任意



ページ指定を変更した場合、**【ページ】** パレットで表示されているページ数が**赤く**表示されます。



【Ctrl+Home】 キーで、ドキュメントの先頭ページに移動することができます。



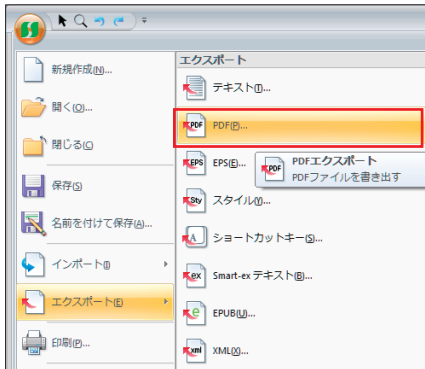
【Ctrl+End】 キーで、ドキュメントの最終ページに移動することができます。



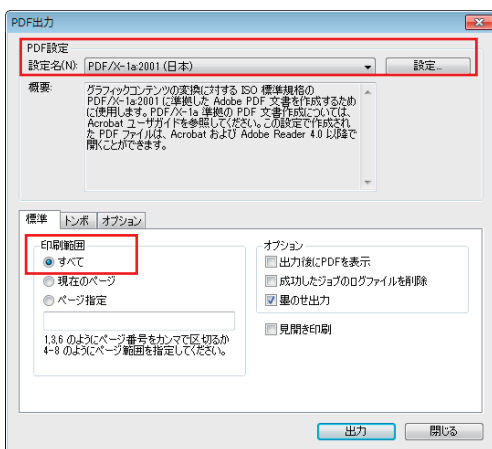
【ページ】 パレットのページアイコンをダブルクリックすると、そのページに移動することができます。

5 PDF 出力する

- 1 PDF 出力を行います。をクリックし、【エクスポート】→【PDF】をクリックします。



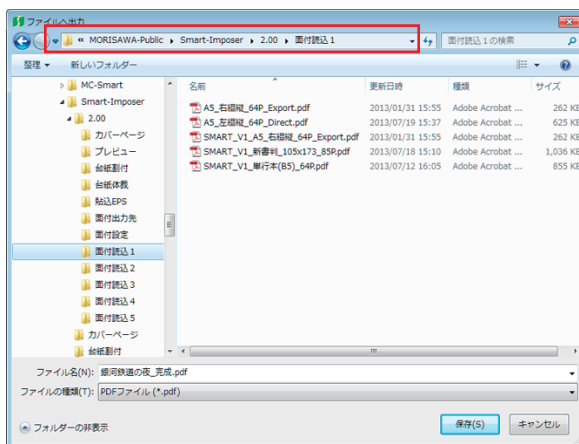
- 2 【PDF 出力】ダイアログで以下のように設定し、【出力】をクリックします。



PDF 設定

設定名 PDF/X-1a:2001 (日本)
印刷範囲 すべて

- 3 【ファイルへ出力】ダイアログで、保存先を以下にし、任意の名前を入力して【保存】をクリックします。



保存先 C:\ユーザー¥パブリック¥パブリックのドキュメント¥MORISAWA-Public¥Smart-Imposer¥2.00¥面付読込 1

※正式な保存先パスは以下になります。

C:\Users¥Public¥Documents¥MORISAWA-Public¥Smart-Imposer¥2.00¥面付読込 1

- 4 PDF 出力が終わったらファイルを保存して、MC-Smart を終了します。



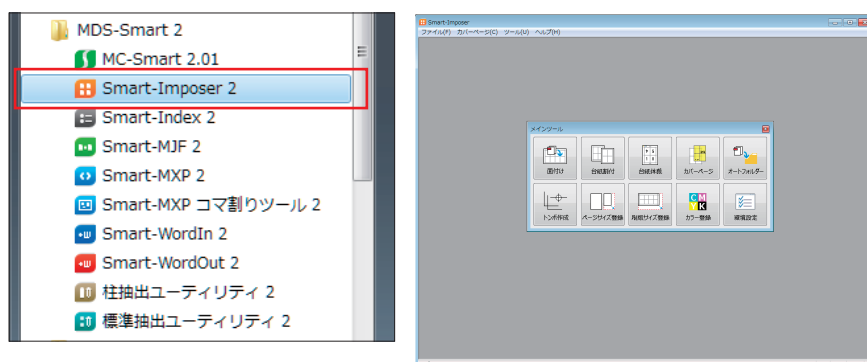
Step4 面付けを行う

Step3 で作成した PDF を Smart-Imposer で面付けをします。Smart-Imposer では台紙の作成→台紙割付→面付け実行の順番で面付けを行います。

1 Smart-Imposer を起動する

1 下記手順で Smart-Imposer を起動します。

- Windows8 をご利用の方は、【スタート】→【すべてのアプリ】→【MORISAWA】→【MDS-Smart2】→【Smart-Imposer2】から起動できます。
- Windows7 をご利用の方は、【スタートメニュー】→【すべてのプログラム】→【MORISAWA】→【MDS-Smart2】→【Smart-Imposer2】から起動できます。



2 台紙を作成する 1

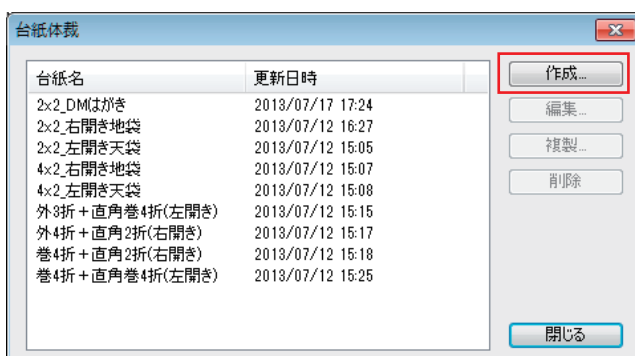
台紙体裁の新規作成

面付けページの配置やページ数、その他トンボなど、面付けに必要な部品の配置をし、台紙体裁を作成します。

1 メインツールより、【台紙体裁】をクリックするか、【ファイル】メニュー→【台紙体裁】より、【台紙体裁】のダイアログを表示します。



2 【台紙体裁】ダイアログが表示されたら、【作成】をクリックします。



面付けページの割付、アキ量の設定

- 3 【台紙体裁編集】ダイアログの【割付設定】タブで面付けするページ数を以下のように設定します。



台紙名 4 × 2 面 _ 右開き _ 地袋

割付面数

横 4 面 縦 2 面

使用する面 両面

アキ 横 0mm 縦 6mm

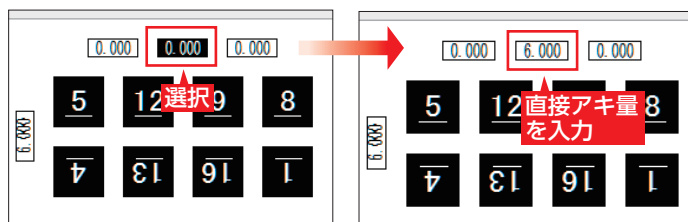
☒ 4 辺裁ち落とし

アキ以外の塗足し量 3mm

☒ 回し折り自動ページ割付

右開き 地袋

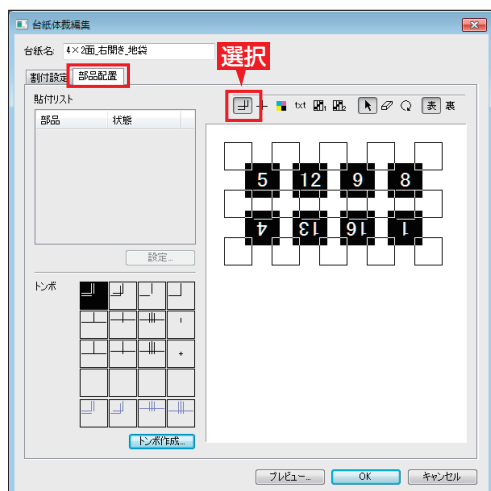
- 4 横のアキには断裁する分のアキ量も必要です。中央のアキにアキ量を直接入力します。下図のように中央のアキ量アイコンを選択し、以下のアキ量を入力します。




アキ量 6mm

トンボの部品配置設定

- 5 【台紙体裁編集】ダイアログの【部品配置】タブでトンボを設定します。画面の  をクリックし、【角トンボ指定画面】の表示に切り替えます。



- 6 次に画面左下にある【トンボ】一覧から以下のトンボの形状を選択し、画面の  をクリックし、ページ割付にある右上のトンボ設定枠をクリックします。



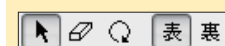
面付けページの割付は【回し折り自動ページ割付】にチェックを入れると自動でページの割付を行います。チェックを入れていない場合は、面付け表示個所に直接数字を入力することで、ページ割付を任意に設定することが可能です。



【プレビュー】ボタンで台紙の設定を確認することが可能です。



【割付設定のツールバー】



矢印ツール：ページ・アキ量アイコンの選択、ページ割付数、アキ量の入力を行います。

消しゴムツール：アイコンの内容を削除します。Delete キーでも削除できます。

回転ツール：ページアイコンをクリックすると、ページの向きを 90 度単位で回転します。

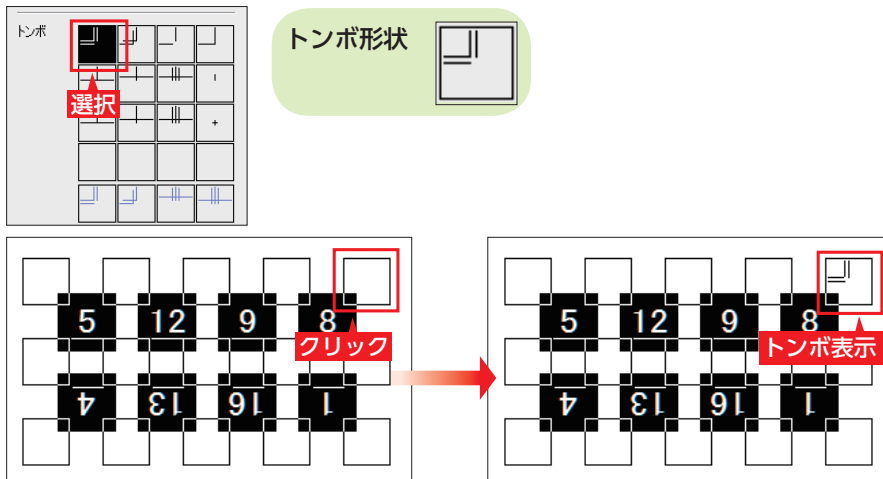
表・裏ツール：台紙の表・裏面を表示します。




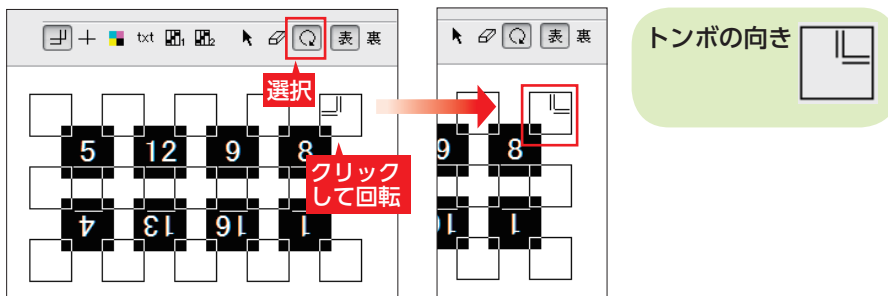
トンボ一覧にある以下の黒トンボは【固定トンボ】になります。




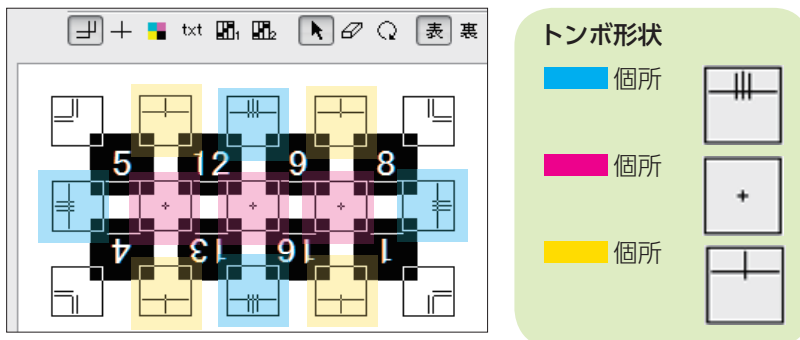
固定トンボは裁ち落としサイズが 3mm 固定となります。なお、このトンボは【トンボ作成】ボタンで編集、新規作成することが可能です。




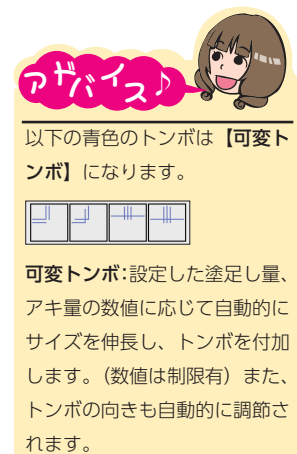
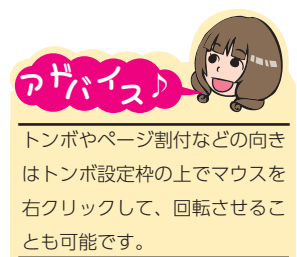
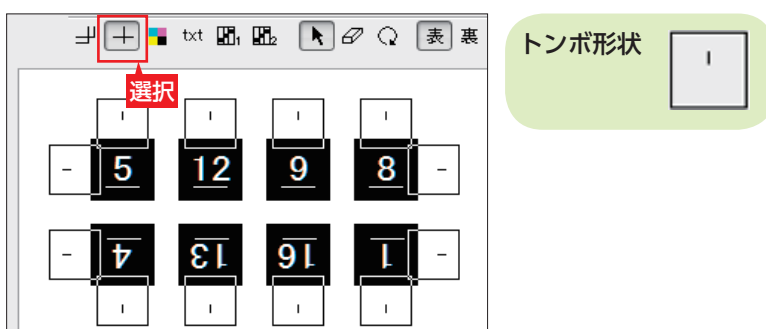
- 7 トンボの向きを調整します。画面のをクリックし、右上のトンボ設定枠をクリックします。トンボの向きが回転するので、以下のように設定します。



- 8 画面のをクリックし、他のトンボ設定枠も同様にトンボを挿入して、以下のようにトンボを設定します。




- 9 画面のをクリックし、【センタートンボ指定画面】を表示し、前述のトンボ設定と同様に以下のようにセンタートンボを設定します。



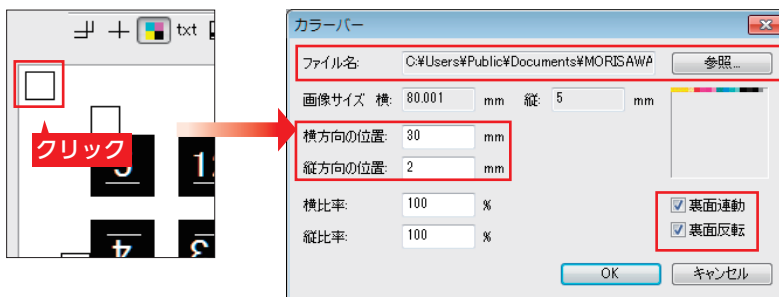
3 台紙を作成する 2

カラーバーの設定

- 1 画面のをクリックし、【カラーバー指定画面】の表示に切り替えます。



- 2 ページ割付表示の左上の枠をクリックして、【カラーバー】ダイアログが表示されたら、以下のように設定し【OK】をクリックします。



ファイル名 Step4-CMYK.eps

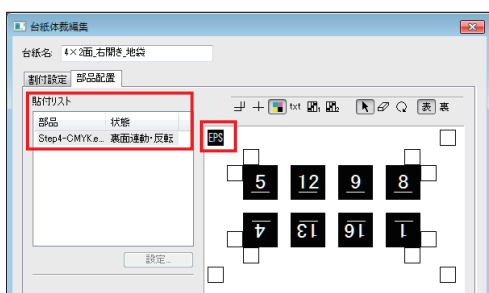
※ C:\Users\Public\Documents\MORISAWA-Public

¥Smart-Imposer¥2.00¥ 貼込 EPS フォルダ内

横方向の位置 30mm 縦方向の位置 2mm

☒ 裏面連動 ☒ 裏面反転

- 3 【貼付リスト】にファイル名が、左上の枠に【EPS】と表示されます。



テキストの設定

- 4 画面のをクリックし、【テキスト指定画面】の表示に切り替えます。



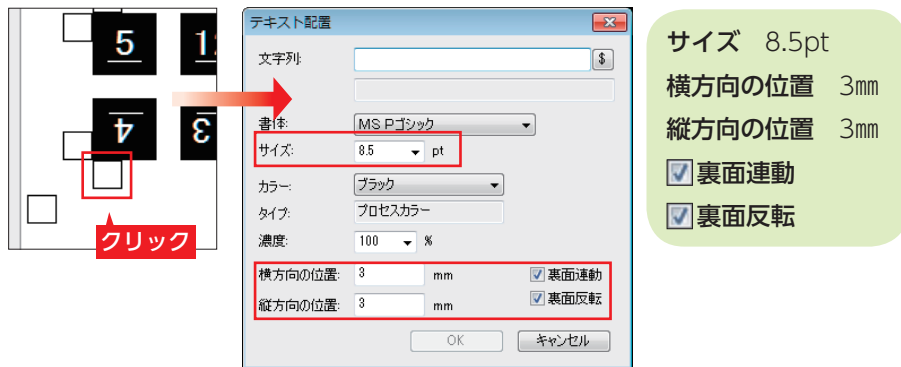
アザバイス♪


【Smart-Imposer】は【貼込EPS】フォルダに様々な【カラーバー】画像を用意してます。付属以外の画像でも eps 形式のファイルであれば使用できます。

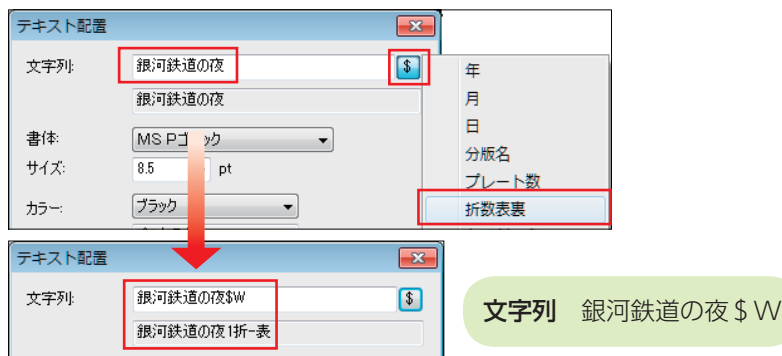
アザバイス♪

【裏面連動】は裏面にも部品を同時に配置します。【裏面反転】は裏面の左右を反転させた位置に、部品を配置します。

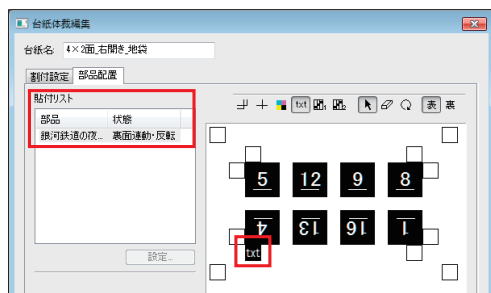
- 5** ページ割付アイコン4の下の枠をクリックして、【テキスト配置】ダイアログが表示されたら、【文字列】以外を以下のように設定をします。




- 6 【文字列】**に面付けファイル名、折数、表裏が表示されるように設定します。**【文字列】**入力箇所カーソルを挿入して、面付けファイル名を入力し、続けて  をクリックし、表示された一覧から **【折数表裏】** をクリックします。**【\$W】** が挿入されたら **【OK】** をクリックします。

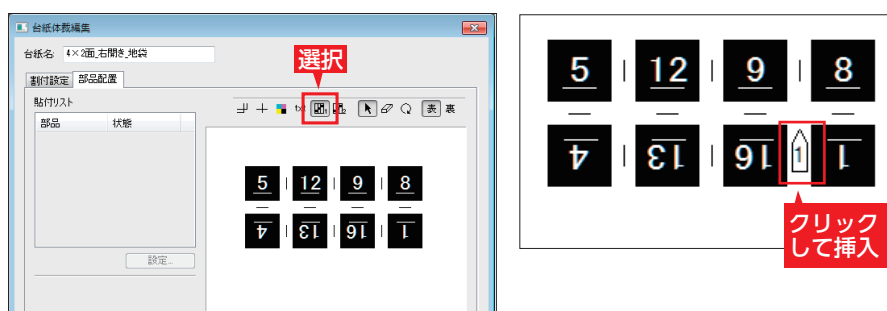


- 7** 【割付リスト】に文字列が、ページ割付アイコン4の下枠には【txt】と表示されます。



背標の設定

- 8** 画面の  をクリックし、【背標1、背丁設定画面】の表示に切り替え、ページ割付アイコンの1と16の間をクリックし、【背標・背丁】マークを挿入します。



サイズ 8.5pt
横方向の位置 3mm
縦方向の位置 3mm
☒裏面連動
☒裏面反転

アザバイス♪



文字列は固定の文字以外に以下の内容を追加できます。

年 (\$Y)、月 (\$M)、日 (\$D)、
分版名 (\$C)、プレート数 (\$P)、
折数表裏 (\$W)、台紙割付名
(\$O)、台紙体裁名 (\$S)

アザバイス♪



【背標と背丁】について

背標→



【背標】は折丁の順番などを確認する印として利用します。【背丁】は異なる書籍の折が混在していないかを確認するために、書籍名や折番号を入れます。通常、背標と背丁は折丁の背の位置に配置します。

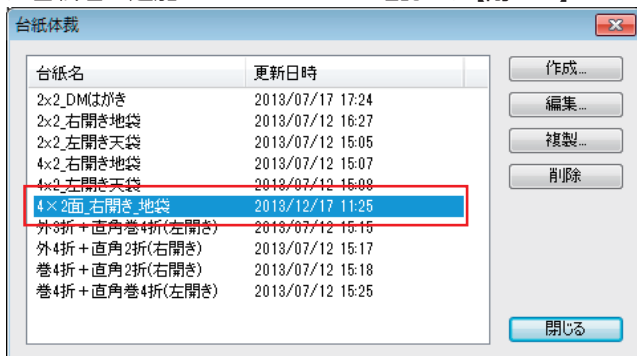
アガバイス♪



【背標・背丁】 マークをダブルクリックすると、マークの向きを変更できます。天袋、地袋などの状況に合わせて、マークの向きを調整してください。

※印字方向の設定については、30 ページのアドバイスを参照ください。

- 9 【台紙体裁編集】ダイアログの【閉じる】をクリックします。【変更を保存しますか】と聞いてきますので、【はい】を選択します。ダイアログの台紙名のリストに作成した台紙名が追加されていることを確認し、【閉じる】をクリックします。

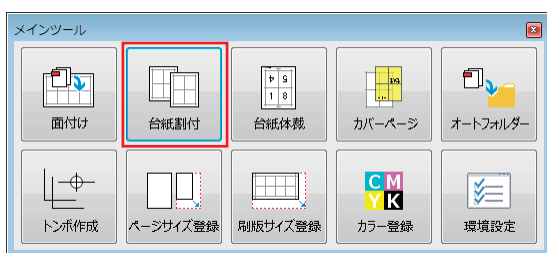


4 台紙割付を設定する

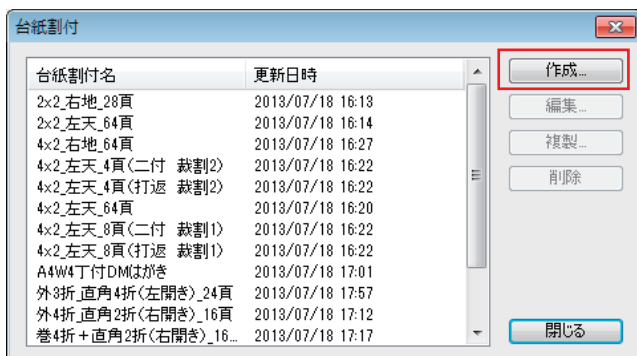
台紙割付では面付けするページ数に応じて台紙が何折分必要かを設定します。今回の面付けでは32ページ分を面付けします。作成した台紙は1折り16ページの面付けですので、台紙割付では2折り分使用する設定を行います。

台紙体裁の新規作成

- 1 メインツールより、【台紙割付】をクリックするか、【ファイル】メニュー→【台紙割付】より、【台紙割付】のダイアログを表示します。



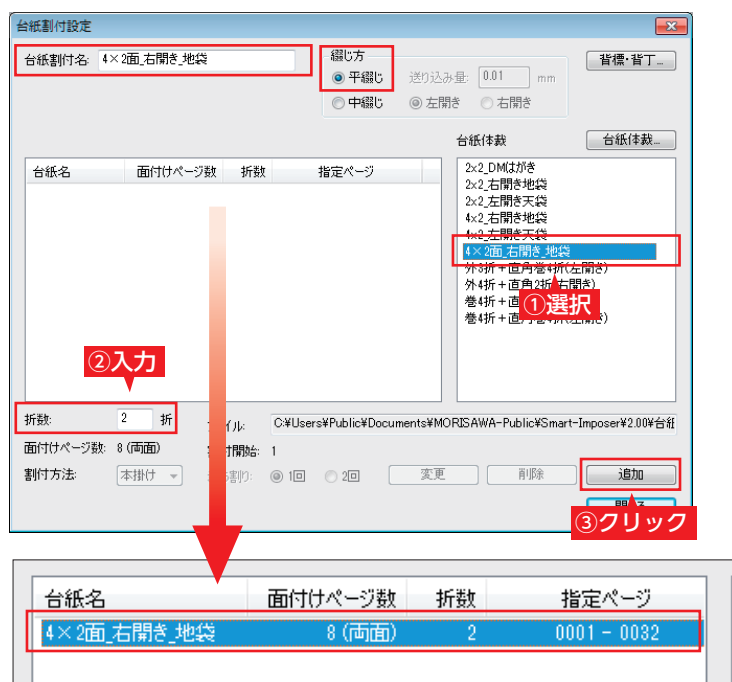
- 2 【台紙割付】ダイアログが表示されたら、【作成】をクリックします。



- 3 【台紙割付設定】ダイアログが表示されたら、以下のように設定し、【追加】をクリックします。画面の左個所にある台紙名一覧に折数を含めた台紙が追加されます。



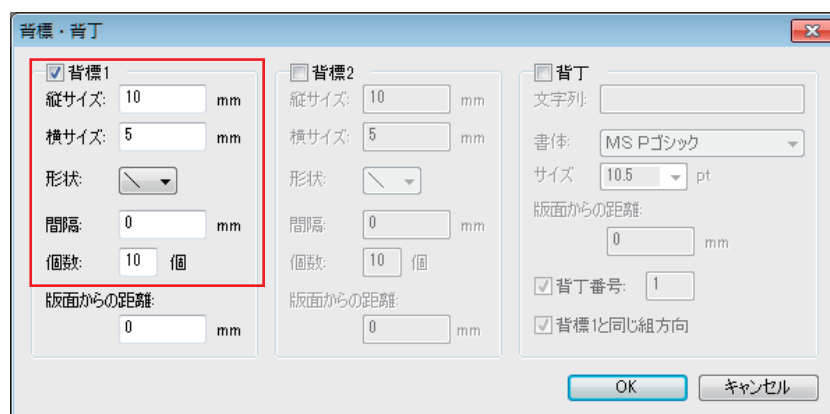
追加された台紙は【割付方法】を設定することができます。割付方法は【本掛け】、【打返し】、【二付け】を選択できます。これらの面付け方法はユーザーズガイドをご覧ください。



台紙割付名 4×2面_右開き_地袋
 台紙体裁 4×2面_右開き_地袋
 折数 2折 綴じ方 平綴じ

背標の設定

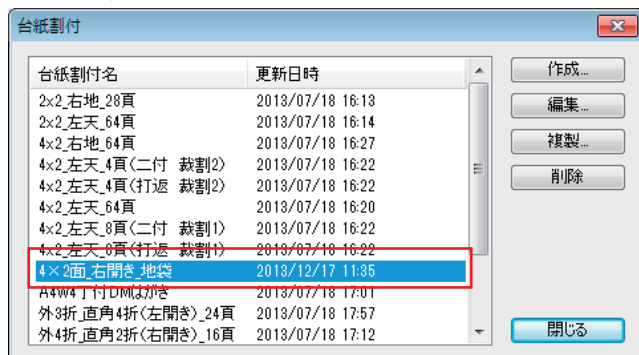
- 4 【台紙割付設定】ダイアログの右上にある【背標・背丁】をクリックし、【背標・背丁】ダイアログの【背標1】を以下のように設定し、【OK】をクリックします。



☑ 背標 1
 縦サイズ 10mm 横サイズ 5mm 形状 斜線
 間隔 0mm 個数 10 個 版面からの距離 0mm



- 5 【台紙割付設定】ダイアログで【閉じる】をクリックします。【変更を保存しますか】と聞いてきますので【はい】をクリックします。【台紙割付】ダイアログの台紙割付名のリストに作成した台紙割付名が追加されているのを確認し、【閉じる】をクリックします。



5 面付けの設定

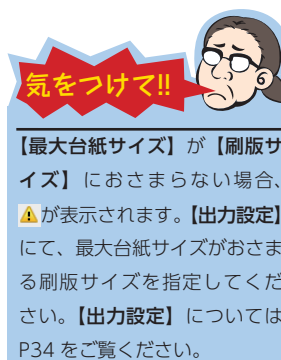
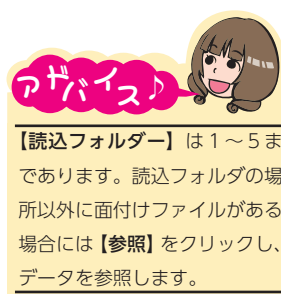
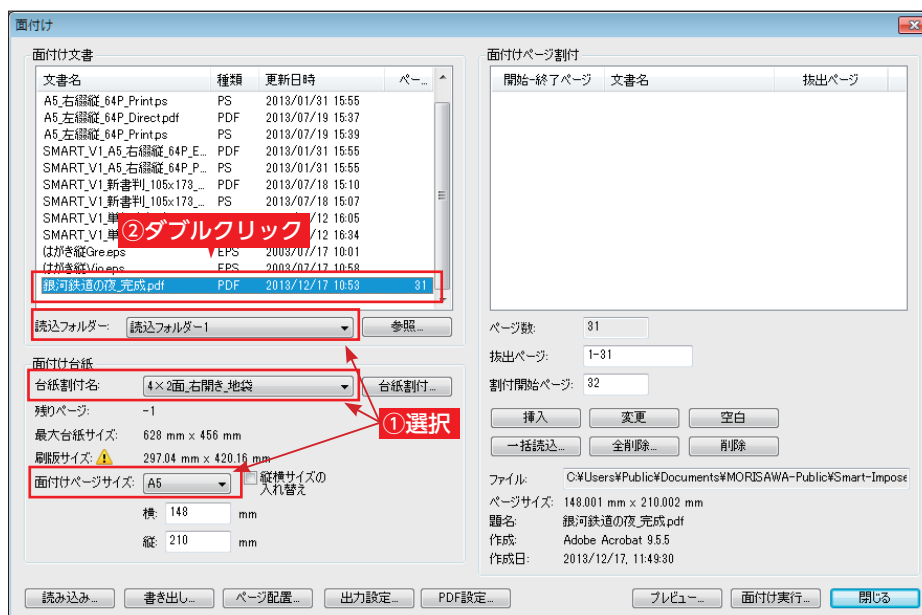
作成した台紙割付を使用し、P23 で保存した PDF を読み込み、空白ページの挿入、出力サイズの設定を行います。

面付けページの読み込み

- 1 メインツールより、【面付け】をクリックするか、【ファイル】メニュー→【面付け】より、【面付け】のダイアログを表示します。



- 2 【面付け】ダイアログが表示されたら、以下のように設定し、面付け文書をダブルクリックします。



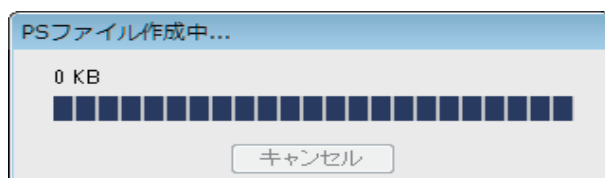
面付け文書

文書名 P23 で保存した PDF 読込フォルダー 読込フォルダー 1

面付け台紙

台紙割付名 4 × 2 面 _ 右開き _ 地袋 面付けページサイズ A5

- 3 下記の画面が表示され処理が終了し、【フィルタ選択】のダイアログが表示されたら、以下のように設定し、【OK】をクリックします。

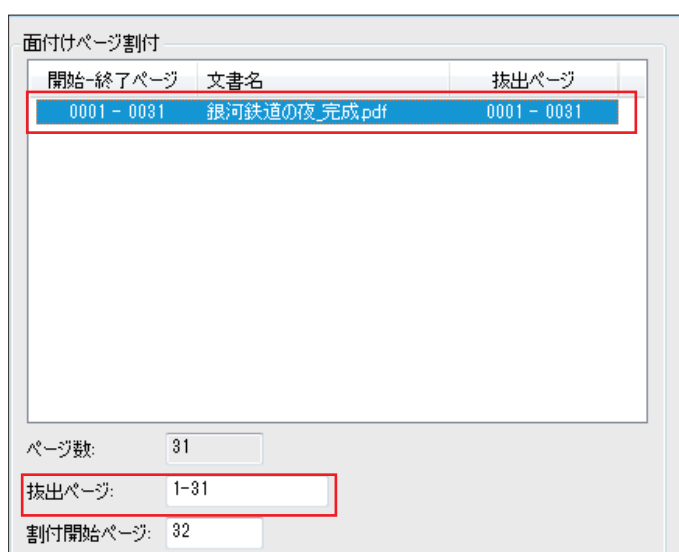


フィルタ PDF



【フィルタ】は面付けするファイルの種類によって選択します。基本的には自動判別しますが、しない場合は一覧から設定します。

- 4 【面付け】ダイアログの右個所にある【面付けページ割付】に文書名が追加されます。



空白ページの挿入

空白ページを 31 ページに追加し、全部で 32 ページにします。

- 5 【面付け】** ダイアログの右側所にある **【空白】** をクリックし、空白ページ編集状態に切り替えます。

ページ数: 31
 抽出ページ: 1-31
 割付開始ページ: 32

挿入 変更 **空白** (クリック)
 一括読込... 全削除... 削除

- 6 【割付開始ページ】** を以下のように設定し、**【挿入】** をクリックします。面付けページ割付の一覧が以下ようになります。

面付けページ割付

開始-終了ページ	文書名	抽出ページ
0001 - 0031	銀河鉄道の夜_完成.pdf	0001 - 0031

ページ数: 1
 抽出ページ:
 割付開始ページ: 31 (①入力)

挿入 (②クリック) 空白
 一括読込... 全削除... 削除

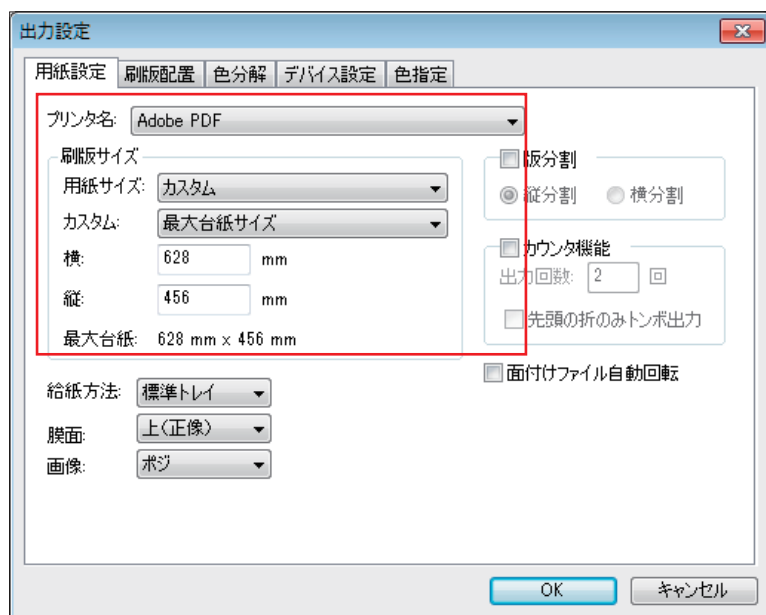
割付開始ページ 31

面付けページ割付

開始-終了ページ	文書名	抽出ページ
0001 - 0030	銀河鉄道の夜_完成.pdf	0001 - 0030
0031 - 0031	〈空白〉	0001 - 0001
0032 - 0032	銀河鉄道の夜_完成.pdf	0031 - 0031

出力する用紙（刷版）のサイズ指定

- 7 【面付け】ダイアログの左下にある【出力設定】をクリックし、以下のように設定し、【OK】をクリックします。



プリンタ名 Adobe PDF

刷版サイズ

用紙サイズ カスタム カスタム 最大台紙サイズ

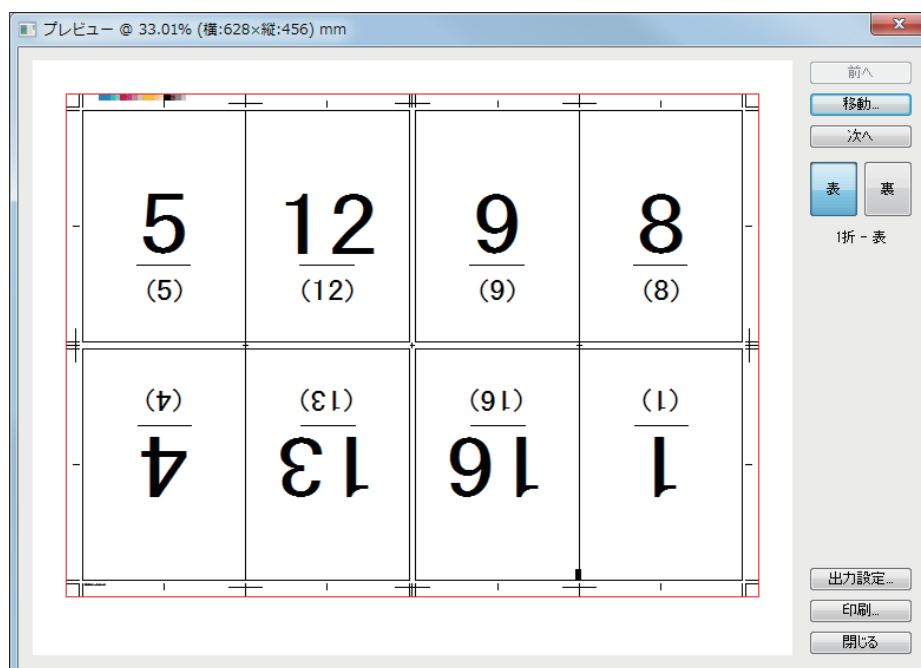
横 628mm 縦 456mm



ここでは【用紙サイズ】を【カスタム】にしていますが、実作業の際は実際に使用する刷版サイズに合わせて設定してください。

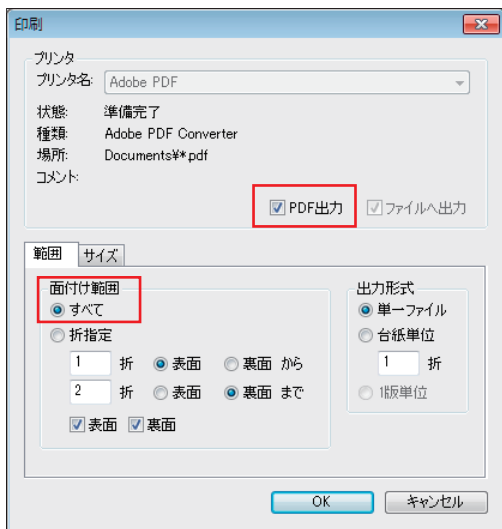
プレビューで確認する

- 8 【面付け】ダイアログの左下にある【プレビュー】をクリックし、面付けのプレビュー表示にします。面付け設定を確認し、【閉じる】をクリックします。



6 面付けの実行

- 1 【面付け】ダイアログの左下にある【面付け実行】をクリックし、【印刷】ダイアログを以下のように設定し、【OK】をクリックします。

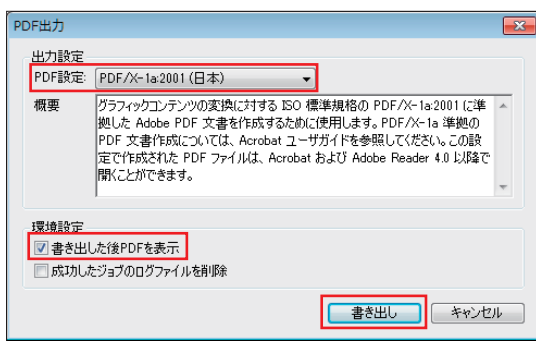


☒ PDF 出力
面付け範囲 すべて



「ファイルへ出力」のチェックを入れた場合は、PS ファイルが作成できます。何もチェックを入れない場合は、選択されているプリンターに直接出力されます。

- 2 【PDF 出力】ダイアログを以下のように設定し、【書き出し】をクリックします。



PDF 設定
PDF/X-1a:2001 (日本)
☒ 書き出した後 PDF を表示

- 3 【名前を付けて保存】ダイアログで任意の場所とファイル名を指定し、【保存】をクリックします。面付けされた PDF が生成されます。



以上でページ物は完成です。

MC-Smart チュートリアルガイド

2014 年 10 月 1 日 第 5 版

発 行 株式会社 モリサワ
本 社 大阪市浪速区敷津東2-6-25 〒556-0012
TEL (06) 6649-2151
東京本社 東京都新宿区下宮比町2-27 〒162-0822
TEL (03) 3267-1231

本製品に関する情報は www.morisawa.co.jp
